



森林防除ネットの研修会の様子

(特非) メタセコイアの森の仲間たち

鳥獣被害対策における 中間支援組織の育成・ 提言・ネットワーク化

フロントランナー
助成

3年目

実践

けもの塾の
修了生

91人

ふるさとけもの
ネットワーク会員数

10団体

活動の全体目標に
対する達成度

85%

課題

全国の農山村地域で問題になっている獣害。現在行われている対策はハード面が多く、最も重要な担い手育成がなされていない。国へ提言し、ソフト面の体制づくりを行うこと。

活動内容

獣害対策の現状を全国1,745の市町村(内612回収)にアンケートと20名の専門家からヒアリングを行い、獣害対策白書としてまとめ、提言し、担い手育成機関を設立し、ネットワーク化する。ふるさとけものネットワークを設立。

実際に地域に根ざした獣害対策を実践・検証し、対策の評価基準などを確立させる。



けもの塾ワークショップの様子

今後の課題

集落支援において、集落リーダーの高齢化が進んでいるため、集落民のみでない都市農村交流をねらった支援が急務である。

成果と工夫した ポイント



成果

鳥獣被害対策を資源化する中間支援組織のネットワーク会員は個人を含めて10団体となった(目標5年目に15)。

岐阜県内で11集落を支援し、自ら守り捕獲できる集落となった(目標5年目に30)。

工夫

けもの塾は行政研修も行い、ターゲットを絞り、広報先をまとめることで集客増を達成できた。